

一般社団法人 日本自殺予防学会 執筆要領

1. 投稿の使用言語は日本語とし、横書き、新かな、常用漢字、算用数字を用いて書く。原稿はA4判の用紙に、上下左右の余白を30mm以上とり、10.5ポイント以上のフォントにてダブルスペースで作成するものとする。欄外下部にはページ番号を記入する。
2. すべての原稿には表紙をつけ、以下の事項を記す；原稿の種別（投稿規定2参照）、表題、図表を除く文字数、図の枚数、表の枚数、著者名（連名の場合は全員）、所属機関、連絡先の住所・電話番号およびEメールアドレス。表題・著者名・所属機関は英文表記も記す。
3. 原著論文及び総説には、和文要旨（400字以内）を本文の前に付け、キーワード（5個以内）を示す。原著論文及び総説には、上記の要旨とキーワードの英訳を付けることができる。ただし英文の校閲は、著者の責任にて行うものとする。
4. 本文中に引用した文献のリストを、必ず本文末に付ける。ただし、本文中で引用・言及しなかった参考文献のリストを添える必要はない。
5. 文献リストは、著者の姓のアルファベット順に配列し、[1][2]などと番号を付ける（同一著者の論文を複数引用するときは発表年順とする）。著者が3名以下の場合は全員を記載し、4名以上の場合は3名まで書いた上でそれ以外の著者名は「他」（英文ではet al）と記載する。本文中においては引用文献を、「稲村[1]は」、「国内の報告[2-4]では」などと文献番号で記載する。印刷中の文献（既に学術誌に受理されているもの）は、発表年に代えて「印刷中」と記載する。
6. 文献リストの記載方法は下の例のようにする。略誌名はIndex Medicus、医学中央雑誌等に従う。通巻頁がある場合は通巻頁数を記載し、号を省略する。単行本の一部の論文を引用する場合は、著者名、論文題名、編者名、書名、頁数、発行所、発行年とする。訳書の場合は、原本を上記の方法で書き、その後に訳者、和文題名、発行所、発行地、訳書発行年を書く。
[1] 川上憲人：わが国における自殺の現状と課題. 臨床精神薬理 2006; 9: 1519-1524.
[2] Pfeffer C: The suicidal patient. Points concerning diagnosis and intensive treatment. Psychiatr Quart 1986; 15: 52-70.
[3] 稲村博：自殺学、その予防と治療のために. 東京大学出版会, 東京, pp 97-108, 1997.
[4] Kiersky JE: Insight, self-deception, and psychosis in mood disorders. In Amador XF, David AS (Eds): Insight and Psychosis, Oxford University Press, New York, pp 91-104, 1998.
[5] Cooper B, Morgan HG: Epidemiological psychiatry. Charles T Thomas Pub., Springfield, 1973. (加藤正明, 石原幸夫, 篠崎英夫訳: 疫学精神医学, 星和書店, 東京, 1981.)
7. 図表は最小限にまとめ、縮小して白黒印刷できる鮮明な原稿を準備し、1枚ずつ別の用紙に印刷する。それぞれに、図1、表1などの通し番号と、図表タイトルを記載する。図表の末尾に別紙を添え、図表の番号とタイトルの一覧を記す。また、本文中には各図表の挿入箇所を指定する。通常制作費を大幅に超えるような図表では、製版実費を著者負担とすることがある。
8. 編集委員会が採用を決定した投稿については、受理後に最終原稿の電子ファイルによる提出を求める。投稿規定および執筆要領に従わない投稿は審査しない。この執筆要領は2015(平成27)年4月1日より適用される。

2009(平成21)年4月20日 制定
2019(平成31)年1月25日 改定